

■平成30年度 自己評価結果公開資料

評価点 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

| 大項目 | | 具体的な評価ポイント | | 評価点 | 課題と改善点 |
|-----|--------------------------------------|------------|-----------------------------------|-----|--|
| I | 教育 人材 理念 育成 ・ 像 目的 | 1 | 理念・目的・育成人材像は定められているか | 4 | もの作りを学びアパレルの企画生産関連職に従事することを目標とした学科、コーディネートを学び販売流通関連職に従事することを目標とした学科とそれぞれの特色を明確に打ち出している。現在の学生の就職状況などを踏まえた数年先までを目標にした構想は立てられているが、若年層の減少に伴う学生数の大幅な変化などを見据えた中期的な将来構想は現在策定中である。 |
| | | 2 | 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか | 3 | |
| | | 3 | 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | 3 | |
| | | 4 | 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか | 3 | |
| II | 学校 運営 | 1 | 理念等に沿った運営方針を定めているか | 3 | 運営方針は毎年教員のミーティングで明確に決められており、運営方針に沿った事業計画を話し合い、実行するよう努力しているが、成果についてはそれぞれの学科などでバラつきがある。どの学科でも成果が出せるよう努力していきたい。 |
| | | 2 | 理念等を達成するための事業計画を定めているか | 3 | |
| | | 3 | 設置法人の組織運営を適切に行っているか | 4 | |
| | | 4 | 学校運営のための組織を整備しているか | 3 | |
| | | 5 | 人事・給与に関する制度を整備しているか | 4 | |
| | | 6 | 意思決定システムを整備しているか | 4 | |
| | | 7 | 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか | 3 | |
| III | 教育 活動 | 1 | 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか | 3 | 専門分野に必要な技術、知識については一部を除き業界ニーズをほぼ満たしているが、入社試験における一般常識問題や学力試験などへの対応力が弱く、今後強化していくべき部分である。 |
| | | 2 | 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか | 3 | |
| | | 3 | 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか | 3 | |
| | | 4 | 教育課程について、外部の意見を反映しているか | 4 | |
| | | 5 | キャリア教育を実施しているか | 3 | |
| | | 6 | 授業評価を実施しているか | 4 | |
| | | 7 | 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか | 4 | |
| | | 8 | 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか | 3 | |
| | | 9 | 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか | 4 | |
| | | 10 | 資格・免許取得の指導体制はあるか | 4 | |
| | | 11 | 資格・要件を備えた教員を確保しているか | 4 | |
| | | 12 | 教員の資質向上への取組を行っているか | 3 | |
| | | 13 | 教員の組織体制を整備しているか | 4 | |
| IV | 学 修 成 果 | 1 | 就職率の向上が図られているか | 4 | 学生個々の希望職種は多様化しており、希望職種によって必要とされる知識、技能も差異が広がっている。それに対応できるカリキュラムの変更が必要となっている。 |
| | | 2 | 資格・免許取得率の向上が図られているか | 3 | |
| | | 3 | 卒業生の社会的評価を把握しているか | 2 | |
| V | 学 生 支 援 | 1 | 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか | 4 | 就職についてはクラス担任のほか就職専任教員、教務、校長が連携して学生の就職活動を支援している。1学年の授業に就職講座があり、企業リサーチ、エントリー指導、入社試験時のマナーなど、場合により外部講師の授業も取り入れながら支援している。 |
| | | 2 | 退学率の低減が図られているか | 2 | |
| | | 3 | 学生相談に関する体制を整備しているか | 4 | |
| | | 4 | 留学生に対する相談体制を整備しているか | 2 | |
| | | 5 | 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか | 4 | |
| | | 6 | 学生の健康管理を行う体制を整備しているか | 4 | |
| | | 7 | 学生寮の設備などの生活環境支援体制を整備しているか | 3 | |
| | | 8 | 課外活動に対する支援体制を整備しているか | 3 | |
| | | 9 | 保護者との連携体制を構築しているか | 3 | |
| | | 10 | 卒業生への支援体制を整備しているか | 3 | |
| | | 11 | 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか | 3 | |
| | | 12 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか | 2 | |

■平成30年度 自己評価結果公開資料

評価点 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

| 大項目 | | 具体的な評価ポイント | | 評価点 | 課題と改善点 |
|------|------------|------------|------------------------------------|-----|--|
| VI | 教育環境 | 1 | 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか | 4 | 教室や備品については計画的に刷新、点検補充を行い、業界ニーズに合った教育環境を整えている。パソコン、パソコンソフト、マシン、ボディなどは常に東海地区の同種の専門学校の中では質、量ともに最も充実している。 専門学校合同での消防訓練については3年ほど行われていない状況である。自然災害に備えた備蓄などは準備されているが今後今以上に防災の備えの充実を図る。 |
| | | 2 | 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか | 3 | |
| | | 3 | 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか | 3 | |
| | | 4 | 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか | 2 | |
| VII | 学生の募集と受け入れ | 1 | 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか | 3 | オープンキャンパス、学外ガイダンス、合同説明会などで学校の特色を周知するよう努めている。当校独自の特色、学校の強みを更に訴えることができるよう、学校のコンセプトやキャッチコピーの見直しなどを進めたい。 教育成果の伝達については、就職実績や外部コンテスト入賞記録などわかりやすい実例を挙げ、教育成果を伝えるよう努めている。今後は教職員個々の学生募集に対する意識、能力を高め、より効果的な学生募集につなげたい。 入学選考については県の基準に沿い適正かつ公正に行っており、学納金は同種の専門学校の中では平均的な金額であり、妥当と考えている。資金面に不安のある入学希望者には学園独自、または公的な奨学金制度等を紹介して対応している。 |
| | | 2 | 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか | 3 | |
| | | 3 | 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか | 4 | |
| | | 4 | 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか | 3 | |
| | | 5 | 経費内容に対応し、学納金を算定しているか | 4 | |
| | | 6 | 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか | 4 | |
| VIII | 財務 | 1 | 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか | 4 | 中西学園として財政の中期計画が立てられ、予算計画に基づく経費使用が行われている。会計事務所に依頼し、年に1回会計士による公正妥当な監査が適正に行われている。 財務状況公開URL https://www.nakanishi.ac.jp/data/finance.html |
| | | 2 | 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか | 4 | |
| | | 3 | 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか | 4 | |
| | | 4 | 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか | 4 | |
| | | 5 | 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか | 4 | |
| | | 6 | 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか | 4 | |
| IX | 法令等の遵守 | 1 | 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか | 4 | 法令に沿った適正な運営が行われている。適宜所轄庁や法律家に相談し法令の遵守に努めている。 個人情報などは施錠されたロッカーに保管され、取り扱いについては十分配慮している。パソコンデータなどの取り扱いについても立ち上げる際のパスワードの設定などを徹底するなどおおよそ個人情報保護法に則った運営ができている。今後の課題としてはサイバー攻撃などを想定したネットワークセキュリティの強化が喫緊である。 平成29年度より年に1度の自己評価、学校関係者評価を行い学内外の問題点の洗い出し、運営方針の決定に役立てている。 自己評価結果公開URL http://www.fashion.nsc.ac.jp/ |
| | | 2 | 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか | 3 | |
| | | 3 | 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか | 4 | |
| | | 4 | 自己評価結果を公表しているか | 4 | |
| | | 5 | 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか | 4 | |
| | | 6 | 学校関係者評価結果を公表しているか | 4 | |
| | | 7 | 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか | 3 | |
| X | 地域社会貢献 | 1 | 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 地域の企業、団体とのコラボレーションによるイベントに積極的に参加し、学生が学外の人材と接する機会を多く設けている。 国際交流については今後前向きに取り組んでいきたい。 学生のボランティアについては、学校に依頼のあった件について随時周知しているが参加率は低いと感じる。 |
| | | 2 | 国際交流に取り組んでいるか | 2 | |
| | | 3 | 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか | 2 | |

2019年 4月 1日

学校関係者評価委員会
委員長 佐藤 弥生

学校関係者評価委員会報告

2018年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

| | |
|----------|---------------------------|
| 本多 徹 氏 | 株式会社アパレル工業新聞 主幹（書面出席） |
| 中村 浩一 氏 | 株式会社 dmd NBGF 事業部 プロデューサー |
| 安藤 美恵子 氏 | 株式会社エフビー 取締役（卒業生） |
| 阿部 麻衣 氏 | LILLT 代表（卒業生） |
| 佐藤 弥生 | 校長 |
| 桐谷 里砂 | 教務主幹 |

2 学校関係者評価委員会開催日時・場所

2019年1月17日（木） 11:30～15:30
名古屋ファッション専門学校 職員室他

3 スケジュール

- ① 校長挨拶
- ② 議題説明
- ③ 学内設備、学生作品など案内
- ④ 意見交換、討議

4 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標①について

- ① 各学生の就職希望に合った実務能力を身に着けるため、柔軟に選択可能なカリキュラム設定を行う。

- ・ 作品制作について、もの作りを学ぶ科とコーディネートを学ぶ科ごとに分かれた授業内容を選択していることが良く分かり、就職をさせる為に効果的だと思う
- ・ ファッション流通科の学生に関しては、就職までに今以上にプレゼンテーション能力を高める授業が必要なのでは。
- ・ デザイナー、パタンナー、スタイリスト、ファッションアドバイザーと学生の就職希望は様々だが、ここだけは押さえなければ、という共通の授業内容について、更に吟味する必要がある。
- ・ ファッションショーとして作品発表をすることが最終課題であれば、流通科も最低限の縫製技術があることを見せなければいけないと思う。

上記のご意見を踏まえ、次年度の授業計画などの変更・修正を検討したいと思います。

2 重点目標②について

- ② 学外での活動時や、就職後にも通用するマナー、一般常識教育を徹底し、コミュニケーション能力を高める。

- ・ 外部の人間に向けて、お辞儀、挨拶など一通りのマナーは身に付けているが、最も大切な「笑顔」が少ないことが残念に思った。
- ・ 企業とのコラボレーションなどを授業に取り入れ、学校での指導が外部の方々の目に触れる機会も多いと思う。多くの学生に元気の無さ、非常に「大人しい」印象を受けたが、就職活動の際など大丈夫なのか。
- ・ 私たちが在籍していた時代はもっとパワーや独自の個性が多い学生が多かった。マナーはめっちゃくちゃだったが、ファッションにはそのようなパワーも必要だと思う。

魅力的な個性や若さが溢れるパワーも持ちながら、マナー一般常識を身に付けている学生を育てるためにはどのようにすればよいのか、今後指導方法の検討を続けます。

3 重点目標③について

- ③ 学校以外で行われる地域連携行事などにも積極的に参加し、立場の異なる多くの人との関わりを経験させる。

- ・ 名古屋帽子協同組合や、駐日タンザニア大使館とのコラボレーションによるファッションショー、名古屋市美術館とのコラボレーションによる衣裳制作と一般展示など、積極的な活動は良いと思う。
- ・ 学外の活動は大切とは思いますが、専門学校という大学に比較し短い在籍期間のなかで、学習内容が細分化され、即戦力を付けるために多くのことを身に付けなければならない状況を考えると、あまり増えても学生に負担が大きいのでは。
- ・ インターンシップなどで同種他校と同席した際の、当校学生の評価はどのような物なのか気になる。

各団体様からお声掛けいただき、地域での行事などに学生が参加させていただくことは大変ありがたい反面、平常の授業との間で時間のやりくりができず、お断りしている行事も多くあります。今後はそれぞれの行事の特性を見極め、平常授業の学びとの接点、共通項目を確認し、学生の負担が増え過ぎないように進めていきたいと思えます。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

- ・ 少子化の影響などを踏まえた中期的な将来構想を検討するために、リサーチ、その他何か具体的な方策はとられているのか。
- ・ 学校の目指す方向性は素晴らしいと思う。
- ・ 技術などの面では受け入れる企業の立場としてはまあ大丈夫だろうとを感じるが、メンタルやコミュニケーション能力の面では少し心配な部分がある。

2 学校運営

- ・ 大学もある学校法人として設立されているので、学校の運営などは安定していると感じる。
- ・ 業務の効率化はどの業界でも至急行わなければならないが、意外と自分たちでは業務内のどの部分が非効率かに気づきにくいと思う。外部の意見、アドバイスを求めているかどうか。

3 教育活動

- ・ シラバスが複雑で分かりにくいと感じた。
- ・ D 判定を除いて、A、B、C の 3 段階の評価というのは、学生個々の能力が分かりにくいのではないかと思う。
- ・ 教の作品審査を見て、作品制作は全体に上手にできていると感じたが、制作者が楽しそうに感じられず残念に思った。素材の調達が難しいのか、質や量が不足していると思う。
- ・ 作品をもっと **Big** で **Pop** な感じにして、若い人の力を表に出していただきたい。そのような指導が望まれる。
- ・ 学校での勉強ばかりではなく、もっといろいろな店や人を見て、スタイリングで感動させるような着方、小物使い、ヘアスタイルまで気遣いができるようにしたい。
- ・ ショーに作品を出品する学生には、学生の代表として技術、センスを磨き、モードの部分を出して欲しい。
- ・ 商業的な部分をもう少しリアルに落とし込んだ服作りを教えたい。その中に遊びがあればよいと思う。
- ・ 毎日利益を上げることを考えて仕事をしていると、自分たちの利益になることを積極的に取り入れていこうと勉強する。学校の先生は研修の機会がお膳立てされていて恵まれていると思う。

4 学修成果

- ・ 就職率などを見てみると、学生、保護者がおおむね満足できる結果を出せていると思う。
- ・ 自分の知っている中でも様々な職種で活躍している卒業生がかなりいる。学校のサイトや SNS などを利用して、卒業生と繋がるシステムを作ってはどうか。

5 学生支援

- ・ 思いのほか退学者が多いと感じたが、退学の理由やそこに至る経緯を聞くと仕方がないかとも思う。
- ・ 入試の制度が複雑すぎないか。これを高校生や保護者に細かく理解してもらえているのか。
- ・ 少子化を見込んで社会人対象の再教育プログラムなどを考えた方がよいと思う。

6 教育環境

- ・ パソコン、ミシンなどの設備、備品の充実も重要だが、南海トラフ大地震などに備えて防災訓練や備蓄を充実させるべきである。子供を預ける保護者の安心感にもつながると思う。

7 学生の募集と受入れ

- 学生募集をする際にターゲット（高校のレベル、学年、居住地域など）ごとの重点ポイントを決めているのか。また広報の部署が別にあるが、そこの情報共有、連携は取れているのか。
- 毎年の入学者数の増減について原因の解明、問題点の解消についての話し合いはされているのか。

8 財 務

- 資料を見る限り、学校法人としては特に問題はないと思う。

9 法令等の遵守

- 外部からのサイバー攻撃に備えてのセキュリティ強化はどこの団体、企業も頭を悩ませている。限りある予算をどれほど振り分ければよいのか。
- 同じ法人内にセキュリティを専門に担当する部署は無いのか。

10 社会貢献・地域貢献

- 出来る範囲で様々な地域活動に参加しているように感じるが、国際交流、学生個々のボランティアを学校が積極的に主導していくような環境が作れていない。
- ボランティアなどやればやった方が人生経験として良いと思うが、機構の学生の経済状況（アルバイトの量や奨学金を借りている割合）で可能なのか。